取扱説明書 INSTRUCTION MANUAL

敷鉄板つり ペリカンフック

JDH型 1t·2t·3t



で使用になる前に、必ずお読み下さい。

ご使用になる方、お一人に

- 一冊ずつお渡し下さい。
- ご希望の方は、取扱販売店、 または、当社営業所までご 請求下さい。





イークブル・クランプ。株式会社

ごあいさつ

この度は、「敷鉄板つりフック」をお買上げ頂き、誠に有難うご ざいます。

ご使用の前には、この説明書をよくお読み頂き、正しい使用方法で安全にお使い下さいますようお願い申し上げます。

弊社は、つり具の専門メーカーとして、お買い上げ頂いたつり具の保守管理のために、巡回サービスによる定期点検および不良部品の交換など、安全対策に万全を期しております。しかし何分にも多方面にわたりご使用頂いておりますので、訪問点検は緊急の場合を除き、当社の計画予定サイクルで実施させて頂いております。

労働安全衛生規則では現在ご使用中のクランプおよびつり具について、メーカーを問わず定期自主点検の実施および点検内容の記録が義務付けられています。つきましては労働安全衛生規則に則った、定期自主点検を実施して頂きまして、つり具による事故の防止にご配慮下さいますようお願い致します。

なお、イーグル・クランプの保守点検につきましては、後記の点 検基準表をご参照の上、異常が認められたものは使用禁止とし、部 品交換、または修理の処置をお願い致します。

修理不能品は誤使用による事故を防止するため、廃棄処分として 下さい。

交換部品、修理品、点検サービスのご用命、製品等についてのお問合せは、イーグル・クランプ取扱店、及び最寄りの弊社営業所にて承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

この取扱説明書は、保守点検の際に必要となりますので、お読み 頂いた後は、ご使用になる方がいつでもご覧になれる場所に、保証 書・点検報告書とともに大切に保管して下さい。

ユーザー登録・クランプ登録のお願い -

保守管理のための大切なデータとなりますので、保証書に添付されております保証書発行確認書に必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送頂きますようお願い申し上げます。

目 次

● ごあいさつ	•••••	1
●目 次	•••••	2
●特 長	•••••	3
● 仕様・寸法	•••••	4
●操作方法	•••••	5
● 使用上の注意	事項	7
● 点検マニュア	7」し	9

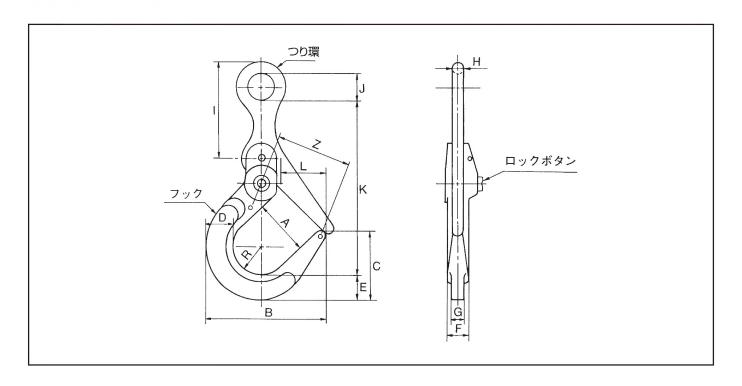
特長

- 1. イーグルクランプの敷鉄板つりペリカンフック JDH 型は、広い開口寸法により敷鉄板はもとより、アイディア次第で広範囲の用途に使用出来るフックです。
- 2. ロック解除ボタンがフックの真横にある ので、ロック解除時に指を挟む心配があ りません。



- 3. つり上げ作業を開始すると、自動的に開口部が閉じ、ロックされます。
- 4. 作業現場の要望を反映した設計をほどこしており、機能性と安全性が一段と向上しています。
- 5. 開口部が大きいので、ナイロンスリングも入ります。

仕様・寸法

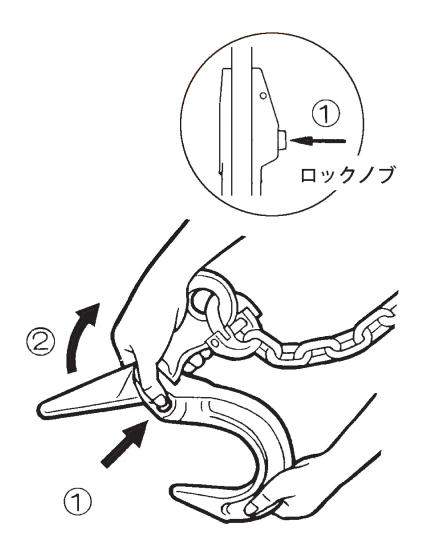


型式	開口寸法	最大使用	寸 法 (mm)						
至以	(mm)	荷重(t)	А	В	С	D	Е	F	
JDH-1	70	1	70	150	86	31	29	24	
JDH-2	80	2	80	169	95	38	34	31	
JDH-3	80	3	80	174	100	43	39	33	

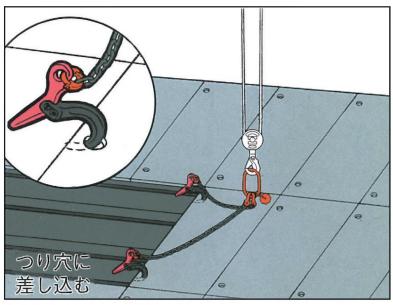
型式	寸 法 (mm)					標点間隔	自重		
至以	G	Н	I	J	K	L	R	(mm)	(kg)
JDH-1	16	13	110	30	220	54	35	100	2.4
JDH-2	20	16	135	38	246	63	40	110	3.4
JDH-3	22	19	143	38	250	64	40	110	4.2

[※]寸法及び塗装色は予告なく変更することがあります。

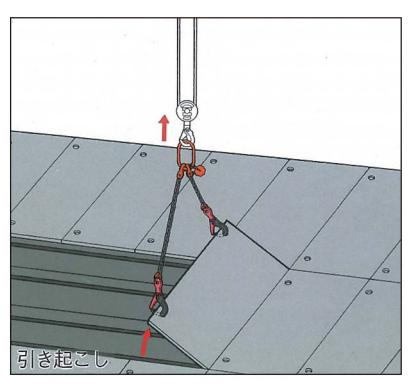
操作方法



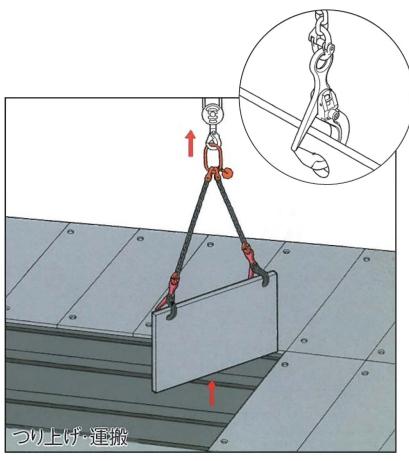
- ロックノブは本体より
 17mm 出ていますので本体内に押し込んで下さい。
 - ①ロックノブを押し込み ますとロックが解除 され、つり環がフリー となります。
 - ②次につり環を回転させ てフックの開口が開 きます。



 フックを敷鉄板などの つり穴に差し込みます。必ずフック(黒) 部を穴に差し込んで 下さい。



3. つり上げ作業を開始しますと自動的に開口部が閉じロックされます。



4. 図のように確実にフックが穴に入りロックがされていることを確認の上、敷鉄板のつり上げ・運搬・施工などの作業を行って下さい。

使用上の注意事項

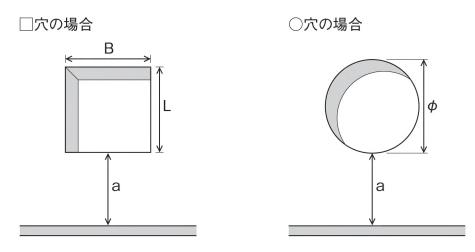


最大使用荷重以上の荷重をつり上げないで下さい。

⚠ 注意

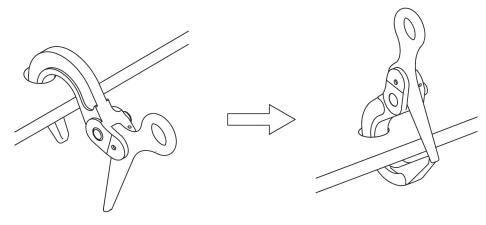
使用方法に記載しています範囲以外の寸法・形状のものに使用しないで下さい。

※下記の表を参照して下さい。



型式	☆ □穴の寸法		○穴寸法	穴から端面まで	板厚
坐 瓦	B (mm)	L(mm)	φ (mm)	a(mm)	T (mm)
JDH-1ton	30以上	40以上	φ 45以上	50以内	25以下
JDH-2ton	34以上	45以上	φ 50以上	60以内	25以下
JDH-3ton	38以上	50以上	φ 55以上	60以内	25以下

注意:つり揚げ部材の穴廻りの強度を確認の上、安全に御使用ください。



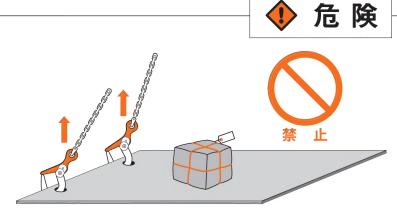


鉄板等の横つり等に使用しないで 下さい。

◆ 危険



斜めつりは、ロックが確実にかからない場合がありますのでおやめ下さい。



敷鉄板に人や物をのせたまま のつり上げに使用しないで下 さい。

◆ 危険

フックの先端に荷重が掛かるようなつり方はしないで下さい。

◆ 危険

ロック装置の不良や破損したものは使用しないで下さい。

◆ 危険

フック本体等に、キレツや変形、穴の伸び及び変形が生じたものは使用しないで下さい。

点検マニュアル

(1) 目 的

このマニュアルは敷鉄板つりフックを正しく使用し、より安全を図るため、作業開始前の点検および定められた時期に点検を行い、事故を未然に防ぐことを目的とした点検指針として規定しています。

(2) 適応範囲

玉掛け用つり具として使用する敷鉄板つりフックの点検について規定しています。

(3) 点検の種類

●日常点検(作業開始前の点検)

玉掛け作業者は、作業開始前に必ず点検を行わなければならない。

(参考:クレーン等安全規則第220条「作業開始前点検」)

- ●定期点検(保守契約制度もあります)
 - ・月例点検 外観・機能の目視による点検を行い、異常が認められた場合は 使用禁止とする。
 - ・年次点検 年に1度期日を定め、定期的に分解点検を行い、点検者はその 時期および点検内容を記録・保管しなければならない。

(参考: クレーン等安全規則 第 217 条「不適切なフック・シャックル等の使用禁止」)

(4) 点検要領および処置

●日常点検・月例点検

敷鉄板つりフックの外観および機能を点検して下さい。月例点検の場合、異常が認められない場合は「点検済み」の表示をして下さい。異常が認められた場合は使用禁止とし、分解点検を行い、部品の手入れ・交換をするか、メーカー(またはメーカー指定の場所)に送付し修理しなければなりません。部品交換基準は、別表の「判断基準」に従って下さい。

●定期点検(保守契約制度もあります)

外観・機能のみでなく分解点検を行い、異常が認められない場合は「点検済み」 の表示をして下さい。異常が認められた場合は使用禁止とします。処置は日 常点検・月例点検に準じます。

(5) 保守点検時の注意事項

◆ 危険

- ●保守点検は、事業者が定めた専門知識のある人が行って下さい。
- ●保守点検で異常があったときは、そのまま使用せず、ただちに補修、または廃棄して下さい。その場合、右図のような札を付けて識別管理をし、誤使用することのないようにして下さい。





●当社純正部品以外は、絶対に使用しないで下さい。

注意

- ●保守点検、修理をするときは、点検作業中の表示(『点 検中』等)を必ず行って下さい。
- ●保守点検、修理をするときは、必ず空荷(吊荷がない) の状態で行って下さい。



点検シールについて

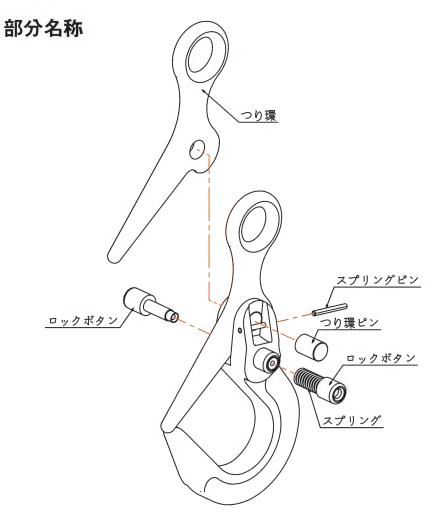
つり具の定期点検においてメーカーが定めた基準に合格 した製品には、点検済の確認の為「点検シール」を貼り 付けています。この「点検シール」は、点検実施月を示 すものであり、次の点検までの安全性を保証するもので はありません。

したがいまして、つり具管理者は日常点検整備や定期点 検整備を確実に実施されるとともに、使用状況に応じ適 切に保守管理を行って下さい。



(6) 点検箇所

No	占投管证	点検箇所日常点検			定期点検内容	
No	从快回 的	口市宗快	月例	点検	年次点検	
1-1	外観(全体)	変形・ノッチ傷・泥等の記 がないか	吉まり	同左 錆び・	クラックがないこと	
1-2	全体の機能	ロックボタンの押し込み 等がスムースに作動するか		同左 錆び・曲がないこと		
2	フック	曲がり・摩耗・変形がない	か	同左 ピン穴・接触部の摩耗がないこと		
3-a	つり環	曲がり・摩耗・変形がない	か	同左 ピン穴	の摩耗のないこと	
3-b	ロックボタン	スムースに作動するか		同左 変形・摩耗がないこと		
3-c	つり環ピン	変形・摩耗がないか		同左 ピン穴	に摩耗がないこと	



(7) 点検基準

点検 個所	項目	判定基準	点検要領	処 置
1 外	1.表示内容の確認 ・型式 ・最大使用荷重	表示のないもの、 不鮮明なものは使 用不可	目視で確認する	表示確認出来ないものは廃棄
観 (全体)	2. ロックボタン、スプリングピンの緩み・脱落	緩み・脱落のない こと	目視で点検する	緩みが有るもの は部品交換 脱落の有るもの 部品交換
2	1. 本体の傷・ノッチ傷・摩耗	ノッチ傷・摩耗は 2 mm 以上 不可	目視 ゲース ギース で まっこう で まっこう で まっこう で まっこう まっこう まっこう で まっこう しゅう しゅう はい はい しゅう はい はい しゅう はい しゅう はい しゅう はい	許容値を超える ものは廃棄
フック (1)	2. 開口部の開き・標点間隔の測定	基準寸法・標点間隔 型式揚量 mm 1ton 100 2ton 110 3ton 110 限界寸法 型式揚量 mm 1ton 108 2ton 118 3ton 118	ノギス等の 測定具で計 測する	許容値を超えるものは廃棄
2 フック (2)	3. つり環とフックとの間隔	8 mm以上開いた場合「使用禁止」を 場合、分ののののののののでででいた。 では、のののでででは、 ののでででいいででいいです。 のでは、 のでででいいでは、 のでは、 のででは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	ノギス等で計測する	分解点検後部品 交換 許容値を超える ものは廃棄

点検 個所		判定基準	点検要領	処 置
2 フック	1. ピン穴 1) つり環ピン穴の摩耗(φ A)	基準寸法・標点間隔 型式揚量	ノギス等の 測定具で計 測する	許容値を超えるものは廃棄
· (α)	2)ロックボタン穴の摩耗(φ Β)	基準寸法・標点間隔 型式揚量 φ A 1ton 22 2ton 22 3ton 22 限界寸法 型式揚量 φ A 1ton 22.5 2ton 22.5 3ton 22.5	ノギス等の 測定具で計 測する	許容値を超えるものは廃棄
3 つり環(1)	3 つり環の傷 ・ノッチ傷・摩耗・ガイド溝 ^{田型} 新型 <u>磨耗</u> 新型 <u>磨耗</u>	ノッチ傷・摩耗は 2mm 以上 不可 旧型のガイド溝の 変形不可	ゲージ・ノ ギス等の測	許容値を超えるものは部品交換

点検 個所	項目	判定	判定基準		定基準 点検要領		要領	処 置
	1. つり環穴 1)穴、穴周りの摩耗 _* A _* ^Ø B _*		下記限界		で計	許容値を超える ものは部品交換		
3				│ 法				
	φC ₁	型式揚量	А	φВ	φС			
1)		1ton	14	30	22			
つり環		2ton	16	38	22			
2	\Ψ,	3ton	16	38	22			
2		型式揚量	限界で		4.0			
		至八杨里 1ton	12.5	φ B 32	φ C 22.5			
		2ton	14.5	40	22.5			
		3ton	14.5	40	22.5			
			 戻りがス	実作動				
	「 ロックボタンの動作 ロックボタンの押込み・戻りがスムー			確認	1100	四四义狭		
		A-76	ない場合	11生 記心				
	スに行えるかの確認							
			タンの廻					
1			が付着し					
4			か、付着					
		している	場合それ					
ツク		らを清掃	してから					
ボ		再確認し	、それで					
クボタン	ロックボタン	もスムー	スに作動					
		しない場	合は部品					
		交換						
	\ i \							
	l H							
	1. つり環ピンの摩耗・変形	摩耗・変形	形のあるも	ノギス	等の	許容値を超える		
	1 A	のは不可		測定具				
			・標点間隔	測する				
5		型式揚量	φ A	,,,,				
	<u> </u>	1ton	20					
7		2ton	20					
つり環ピン		3ton	24					
ピ			寸法					
		型式揚量	φ A					
		1 ton	19.5					
	<u></u> 摩耗_	2ton 3ton	19.5 23.5					
		_ Oton	20.0					

ディークリングランプ株式会社

本 社/〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2-3(久寿野木ビル)

(貿易部) TEL(06)6762-0341(代) FAX(06)6768-5718(代)

E-mail: (本社) eagle@eagleclamp.co.jp (営業本部) ava-m@eagleclamp.co.jp

東京本社/〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川2丁目2-2(日光ビル)

TEL(045)491-5355(代) FAX(045)491-9633

E-mail: m-jinno@eagleclamp.co.jp

札幌営業所/〒003-0837 札幌市白石区北郷7条7丁目1-10

TEL(011)873-6053(代) FAX(011)873-6306

E-mail: f-sasaki@eagleclamp.co.jp

仙台営業所/〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目27-3

TEL (022) 254-5161 (代) FAX (022) 254-5163

E-mail: s-shibuya@eagleclamp.co.jp

北関東営業所/〒373-0806 群馬県太田市龍舞町5342

TEL(0276)46-7331(代) FAX(0276)46-7004

E-mail: n-hirata@eagleclamp.co.jp

千葉営業所/〒290-0056 千葉県市原市五井1205-1

TEL(0436)23-4811(代) FAX(0436)23-4812

E-mail: t-nagamine@eagleclamp.co.jp

名古屋営業所/〒456-0062 名古屋市中村区横前町551-4-1

TEL(052)671-4137(代) FAX(052)671-5730

E-mail: m-umoto@eagleclamp.co.jp

大阪営業所/〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2-3(久寿野木ビル)

TEL(06)6762-2081(代) FAX(06)6768-8275

E-mail: y-nishitome@eagleclamp.co.jp

北陸営業所/〒921-8011 金沢市入江3丁目132(福村ビル)

TEL (076) 291-2026(代) FAX (076) 291-2027

E-mail: h-araki@eagleclamp.co.jp

岡山営業所/〒700-0986 岡山市北区新屋敷町3丁目5-21

TEL(086)246-1451(代) FAX(086)245-8951

E-mail: y-fujioka@eagleclamp.co.jp

広島営業所/〒733-0863 広島市西区草津南3丁目7-9

TEL(082)279-6600(代) FAX(082)501-2566

E-mail: s-morii@eagleclamp.co.jp

小倉営業所/〒802-0064 北九州市小倉北区片野3丁目4-14(勝之ビル)

TEL(093)921-1286(代) FAX(093)922-4379

E-mail: t-wakasa@eagleclamp.co.jp

長崎営業所/〒851-1132 長崎市小江原4丁目2-5

TEL(095)844-9875(代) FAX(095)846-2251

E-mail: j-kinoshita@eagleclamp.co.jp

奈 良 工 場/〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570

TEL(0743)78-0571(代) FAX(0743)78-1639

E-mail: h-ueda@eagleclamp.co.jp

技 術 部/〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570

TEL(0743)78-0571(代) FAX(0743)78-0572

E-mail: t-kawashima@eagleclamp.co.jp

ユーザー新規登録/確認/定期点検についてのお問い合わせは

フリーダイヤル 0120-119-080

ホームページ http://www.eagleclamp.co.jp